

1
2022

すなかせ

No.14

鳥取砂丘メールマガジン
2022年1月号

山陰海岸国立公園鳥取砂丘ビジターセンター



～☆企画展示☆～

◆山陰海岸ジオパーク児童研究作品コンテスト 入賞作品展

山陰海岸ジオパークエリア内の小学校児童を対象に行われた児童研究作品コンテストの応募作品の中から、審査会で選ばれた入賞作品の巡回展を開催します。

山陰海岸ジオパークの地形・地質、動植物、歴史や文化などをテーマにしたいずれも研究への熱意が伝わる作品です。

【開催期間】2022年1月4日(火)まで (1月4日は15:00まで)

【主催】山陰海岸ジオパーク推進協議会

◆鳥取県のお雑煮・鏡開きと酒津のトンドウ

年末年始にかけ、鳥取のお正月にまつわる地域の文化や、伝統行事についてパネル展を行います。

○鳥取のお雑煮

え? 「ぜんざい」じゃないの? いいえ、これが“うちげ(我が家)のお雑煮”です! 鳥取県東部の「小豆雑煮」と西部の「岩のり雑煮」を説明し、全国のお雑煮も紹介します。

○鏡開きと酒津のトンドウ

お正月の終わりを告げる日本の伝統行事「鏡開き」と、鳥取市気高町で行われる国の無形文化財「酒津のトンドウ」について紹介します。

【開催期間】2022年1月11日(火)まで

◆鳥取砂丘旅日記絵マップ集完成記念 原画展

鳥取砂丘ビジターセンターを訪れる皆さんから好評いただいているさまざまな解説の絵や地図。当館のジオガイド「ふーたん」こと林田房雄が色鉛筆で描いたものです！2021年に描いた作品を中心に、手描きの原画を展示するとともに、皆様から「この絵マップが欲しい」との声にお応えしてマップ集を作成・展示します。

【開催期間】2022年1月8日(土)～2月13日(日)

◆節分・砂丘のオニ

日本の伝統行事「節分」のパネル展示を行います。

○節分

「節分」と「豆まき」の説明と、節分に行われる県内の風習を紹介します。

○砂丘のオニ

鳥取砂丘で出会える、名前に“オニ”が付く植物や見た目が“オニっぽい”生き物そして岩美町熊井浜で毎年行われるプロジェクトの2021年度活動状況を「オニ退治」になぞらえて紹介します！

【開催期間】2022年1月15日(土)～2月3日(木)

◆海ごみアート「プラホウドリ」巡回展

「とっとりプラごみゼロ」チャレンジの一環として漂着物でアート作品を制作する県内在住の芸術家「淀川テクニク」氏が、鳥取砂丘をはじめとした県内の海で拾い集めた海ごみで造形作品を制作。モチーフとなっているのは、プラごみをはじめとした海ごみを食べる頻度が高いとされる絶滅危惧種の「コアホウドリ」です。

県内各地を巡回しているプラホウドリ展示が、鳥取砂丘ビジターセンターへやってきます。

【開催期間】2022年2月3日(木)～2月22日(火)

【主催】鳥取県生活環境部循環型社会推進課

◆「ジャバラクダ」展示

2021年11月14日に、絵本作家の tupera tupera さんをお招きし、地元の親子を対象に「大きなジャバラ絵本を作ろう！～へんてこ鳥取砂丘編～」を開催しました。絵本のおはなし会や親子でのワークショップを行い、多くの親子連れで盛り上がりました♪

イベントの看板として tupera tupera さんが製作された「ジャバラクダ」等をパネルと併せて展示します。

【開催期間】2022年2月21日（月）～3月17日（木）

【主催】鳥取市男性保育士会 じゃんぐる☆じむ

◆ひなまつり・もちがせの流しびな

日本の伝統行事「ひなまつり」の展示を行います。

○桃の節句・ひなまつり

「ひなまつり」の説明とひな人形飾り、お供え物を展示します。鳥取県東部地域のひなまつりに欠かせない郷土菓子「おいり」も紹介します！

○もちがせの流しびな

鳥取市用瀬（もちがせ）町で毎年旧暦3月3日に行われる鳥取県無形民俗文化財「もちがせの流しびな」について紹介します。

【開催期間】2022年2月23日（水）～4月3日（日）

～☆館内イベント☆～

◆ひなまつりワークショップ

アリジゴクをおひなさまに見立てた、オリジナルの雛飾りを作りましょう！

【開催日時】2022年2月26日（土）・27日（日）

①11:00～12:00 ②14:00～15:00

【対象】5才以上～

【制作時間】約30分～1時間

【予約】不要・随時受付

☆鳥取砂丘周辺の情報☆

鳥取砂丘砂の美術館 第13期展示◆「砂で世界旅行 チェコ&スロバキア編」

第13期展示の期間は、2022年1月3日(月)まで

詳細はこちらからどうぞ↓
<http://www.sand-museum.jp>

☆自然情報☆

* 砂嵐

冬型の天気の日には、日本海から冬の季節風が吹きます。風速12mを超える強風時には砂嵐が発生し、時には砂丘内や砂丘入口階段を激しく砂が吹き抜ける様子を見ることができます。生き物のように激しく移動する砂は、迫力満点です。

* 砂柱・砂簾

冬に見る機会が多い立体的な砂の模様です。

「砂柱」は砂が湿っているときに風速12mを超える強風が吹くとできるトゲトゲ、ゴツゴツとした砂の模様です。風が強いほど大きく、ダイナミックなものができます。

「砂簾」は雨を伴う強風のあと、天気が良くなって砂が乾ききる最中に馬の背などで見られます。崩れた砂がカーテンや簾のような見た目になるので、「砂の簾＝砂簾」と呼ばれます。

* ゼブラ模様の砂丘

「風成横列シート」と呼ばれる砂の模様です。雨上がりの砂丘に強風が吹くと、砂丘全体が白と茶色の大きなゼブラ模様になります。

近くに行くと、白い部分は砂が乾いていて風紋が見られ、茶色い部分は砂がまだ湿っていて砂柱が見られます。

* 初積雪

12月17日夕方から降り出し、積雪を確認。12月19日には今季初の「白い砂丘」も見られました。これから1~2月には、数回にわたって雪化粧した様子が見られるかもしれません。

